

コミュニティ
No.54

常盤

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会

祝常盤校区設立20周年記念式典



被表彰者 藤田 徳雄 原野 暁 山本 昭 藤田 久子
 (敬称略) 下園 敏男 梅田 高夫 長年の功労に感謝します

「二十歳」の門出

常盤校区設立二十周年記念式典が常盤ふれあいセンターで、藤田市長をはじめ歴代館長が列席の上に開催されました。

常盤校区は一九八五年に、西岐波と恩田の一部が併合され、当初は二千四百八十一世帯、人口七千七百六十八人で誕生しました。

主催者を代表して、藤永自治会連合会長が「何もかもがゼロからの出発で、苦労もあつたが、住民が心を一つにして頑張ってきた大きな節目を迎えることができました」と話があり、続いての表彰式で、団休役員を長年務めたり、功労があつた方々の功績を称えました。

引き続き祝宴があり、和やかなムードで思い出話やこれからの常盤を語り合いました。

総合の部

優勝 大沢西自治会

リレーの部

優勝 岡ノ辻自治会

あーんすあーんすあーんすあーんすあーんす



今年、子どもたちの参加が多く元気な声が運動場一杯に響いていました。



第20回 常盤区民大運動会



あんだどこへ行くのよ



お化粧上手ね



白熱の自治会対抗リレー

第20回の記念大運動会は天気にも恵まれて楽しい一日を過ごしました。



総合優勝の大沢西

地域福祉懇談会
 宇部市の地域福祉計画策定に向けた懇談会が開催されました。
 地域にあった身近な福祉を住民で実践できる福祉計画づくりに反映されるものです。
 一回目は、「日常生活の中で感じている生活課題」について意見を話し合っており、地域で解決出来そうな課題を選定しました。
 二回目は、選んだ課題に対し、地域でどんなことが出来るか、また、誰が何をすれば良いのか、解決するためのアイデアを話し合いました。
 ・地域の多くある課題の中でも、少子高齢・生活の安全確保・独居老人の援助など、実現にあたっては、校区の根底にある自治会、班単位で実行して行く必要があります。

教室紹介 歌を楽しむ会

この会は、昭和六十二年に、校区老連の会員で歌好きの人が集まり、校老カラオケ教室として発足、講師の指導を受けながら、練習に取り組んでおりました。二年前に講師が亡くなられたことから、解散という声もありましたが、残った者がせっかくの火を消さないで続けようと言うことになってから、レッスンテープにより歌い続け

ています。今年四月から、楽しく唄うということから、会の名称を「歌を楽しむ会」に変え、みんな仲良く和気藹々で、二回レッスン、一回個人発表のペースで月三回の練習に取り組んでいます。

腹式呼吸で腹から声を出すことにより健康にも良く、現在会員三十人、うち男性四人の会ですが、みんなが先生であり、生徒になって



これからも元気で、健康であることを願って、歌い続けて行けるように頑張っています。

代表 藤田 徳雄

団体 「コミュニティ常盤」 紹介

編集委員長 藤永 徹也

校区の広報紙として年三回発行しています。現在編集員は八名。無口な編集長を中心に毎回にぎやかに脱線しながら作り上げています。発行までの過程を再現すると、一回目、54号は何を載せよう

か？

(あくで・こくで、エツおいしい店って？こんな話で盛り上がる)

二回目、この記事はどこに掲載して、何文字で依頼する？ 誰かこの記事の取材に行かない？ 団体紹介は私達しか残ってないよ。最古参でさぼってる人が書かんやあ。エー私がー？ 三回目、印刷所に入稿出来るよう割り付けをし、原

稿と写真に番号をつけてねー。

四回目、校正、読んだら回してね。字が間違っちよる。何回も確認したのになー。さあ、出来上がり。

これからもコミュニティケーションの輪を広げ皆さんに親しまれるコミュニティ紙づくりに努めます。

(記 松波)

通学合宿 in ときわ 2005 青年の家

平成十七年度の、第二回通学合宿が三十四名の参加で行われました。

今回は、女子が二四名、男子が一〇名と男女の比率に差があり、何か不吉な予感が・・・。

いよいよ活動開始・・・いきなりガラスが割れる音・・・今年男子の宿泊室の窓ガラスでした。

わんぱく・おてんば大いに歓迎ですが、集団生活における最低限のルールを守らないと合宿が嫌になる子どもが出ます。

指導員ノートを見ると、児童の生活の様子は「よかったと思うこと」に比



ボランティア・雑巾縫い

べて「もう少しこうした方がい」に書かれていることが圧倒的に多く、特に、小さいざこざが多くありました。

これは子どもたちが集まって仲間をつくるのが苦手で、小さな仲良しグループがいくつにも分かれてしまうからです。

集団生活が少しは理解できた頃には通学合宿も終わってしまいました。

今回の宿泊スタッフはバテ気味のようでした。

カッタランド

平成十七年度の「カッタランド」が宇部市母子保健推進協議会の主催で始まりました。

年四回開催される「カッタランド」は、常盤校区母子保健推進員の協力で行われる、赤ちゃんとお母さんのための育児サークルです。今回は、六ヶ月から五才の幼児二十二名がお母さんと参加して楽しいひとときを過ごしました。

体操「トトロの散歩」

から始まり、大きな声で「おへんじハイ」。保健士さんからは「親子の接し方」の話が、親子で楽しい遊びを交えながらあり、絵本の読み聞かせ「くだもの」「ぞうさんのさんぽ」では、目を丸くして食い入るように見聞きしていました。記念に「手形」「身体測定」など楽しい時間でした。

今後の予定は、十月



は外遊び、十二月はクリスマス会、二月は未定ですが楽しい企画を用意してあります。親子で多くの参加があれば、推進員は大変嬉しいそうです。

校区行事予定

平成17年度

- 5月 8日 区民運動会
- 7月 3日 常盤海岸清掃
- 7月10日 空き缶回収
- 7月17日 常子連球技大会
- 8月 6日 区民慰霊祭・夏祭り
- 9月18日 常盤小学校運動会
- 9月19日 校区敬老会
- 10月15日 常盤3世代交流・国際交流大会
- 10月16日 空き缶回収
- 10月22日 亀浦古墳を残そう
- 10月23日 常子連文化祭
- 11月5・6日 校区文化祭
- 11月13日 常盤の自然観察
- 12月 4日 人権教育推進大会
- 12月23日 輪飾り・凧づくり
- 1月 4日 新年互礼会
- 1月 8日 どんど焼き
- 3月 6日 あるウォーク大会

スポーツ行事

平成17年度

- 7月10日 区民ソフトボール大会
バレーボール大会
- 9月 4日 市民ソフトボール大会
バレーボール大会
- 10月 9日 市民体育大会
ニュースポーツフェスティバル
- 10月20日 区民ソフトバレーボール大会
- 12月18日 市民ソフトバレーボール大会
- 1月22日 区民インディアカ大会
- 2月19日 市民インディアカ大会

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志いただきました。常盤校区の福祉事業のため有意義に使わせていただきます。厚くお礼申し上げます。

河井辰子様	ご夫君	満登様
村田弘様	ご尊父	望様
吉松和穂様	ご夫君	貞夫様
末永雅子様	ご母堂	金津圓子様

常盤校区社会福祉協議会

ペリカンの声

今年も子どもたちが自分たちで生活をしながら小学校へ通う通学合宿が行われました。年配の方は、何故こんなことをやる必要があるの不思議に思うかも知れません。

二〇〇五年の日本人の平均寿命は、男性が78歳、女性が85歳です。一九五〇年では、男性58歳、女性61歳でした。50年ほどで生きる時間が20年も延びています。昔の子どもが10歳で体験していたことを、今の子どもたちは13歳でやることになりました。のんびりやれるはずなのに、それを許さない社会です。そのため、生活体験も家庭でできないことが起こっているのです。だから、地域の力が必要になってくる社会です。

コミュニティ
No.55

常盤

発行/常盤校区コミュニティ推進協議会



咲いた・咲いた
コスモス咲いた

大沢西自治会の休耕田が見事なコスモス畑に変身しました。

場所は、常盤ふれあいセンターから常盤小学校入り口に通じる道端にあり、最近は車の往来も増加して「ポイ捨ての名所？」になりつつあったようです。

そこで、「近所の底力」の妙案で、きれいな所にはゴミも捨てにくいだろうという人の心理を衝いてコスモス畑が提案されて、川棚の「リフレッシュパーク豊浦」で勉強をして美しいコスモス畑が実現しました。

大沢西自治会の「コスモスマつり」も開催され盛り上がりを見せました。また、開花中は、多くの方が花を楽しむに訪れました。

第20回 常盤校区文化祭



力作の文化展

不安定な天候で、人出が心配されましたが、演芸が始まる頃にはたくさんの来場がありました。



どこから溢れたこの人出



東・北則貞子ども会「ボディパーカッション」

常盤3世代&国際交流大会

わくわく常盤

第5回大会を記念して「わくわくイングリッシュ」のスタッフによる、遊びコーナーが仲間に入り「世界の鬼ごっこ」を楽しみました。また、子どもの頃に祭りでわくわくしながらしたなつかしい「射的」を子どもたちに体験させ、大人気でした。



なつかしい射的も子どもには新鮮



作ってピョンピョンカエル



ロシアの鬼ごっこ「ねことねずみ」

教室紹介 着物着付け教室

着付け教室は、この春四月から新しく開設されました。

現在は、河野先生の指導の下で生徒五人が、

月二回（第二・四土曜日の十時から十二時まで）活動しています。

一人の高校生はじめ、何かと忙しい主婦の習い事ゆえに、集まりが少人数の時もあります。が、その分先生の指導も行きます。初めの頃はぎこちな

い雰囲気も、今では分からないことがあればみんな学ぶ楽しさに変わってきました。

これまで、浴衣の着方、はんちや結び、かた流し、きつちや結び、名古屋帯の結び方などを学んできました。

日本伝統の着物、そして、その美しい組み合わせの面白さなどを一緒に味わってみませんか。

（世話人）



なごやかな着付け教室

「工作らんど」で子どもたちが制作した光のオブジェがふれあいセンターに飾られています。

第15回 常盤区民ソフトバレーボール大会



常盤小学校体育館で、宇部市ソフトバレーボール大会の校区予選を兼ねて老若男女が入り交じって楽しく開催されました。

成績は以下のとおりです。

男子の部

- 優勝 北則貞
- 準優勝 大沢県営住宅
- 3位 後岡ノ辻

女子の部

- 優勝 大沢西後
- 準優勝 東則貞C
- 3位 後岡ノ辻

混成の部

- 優勝 岡ノ辻
- 準優勝 後岡ノ辻
- 3位 大沢西前

亀浦古墳の清掃と保存 子ども委員会

宇部市文化財指定の亀浦古墳は、一五〇〇年前頃の古墳時代後期の円墳と推定されています。保存活動については、亀浦古墳保存会と亀浦子ども会が中心となっており、地道な活動ですが貴重な文化財を子どもたちに伝えて文化財愛護の重要性を学習しています。



今回は、木製の柵が破損したため、ロープで囲みましたが、墳墓の盛り土もかなり無くなり石棺の露出もあって盛り土をして保存する必要があります。

パイプテントの補充について

常盤校区で、パイプテントを2張そろえました。これは、財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの普及広報事業の一環として行っているコミュニティ助成事業で整備されたものです。

常盤湖畔の自然観察

常盤子ども委員会主催で常盤池周辺の自然観察をしました。ふれあいセンターで、常盤遊園協会の白須さんに「常盤池周辺の野鳥」をスライドを交えた事前学習をして、双眼鏡を片手にさっそうとでかけました。

センターを出るとすぐ「チーチー」と鳴くハクセキレイや羽に紋があるジョウビタキなど5種類を観察。

常盤池の中には、オオバン・マガモ・カワウ・カイツブリなど。青年の家周辺では、ツクイタダキ、ヤマガラ、メジロなど、特にコゲラがクヌギの木に丸い穴を開けて巣作りをしている姿を観察できたことが一番の感動



すばやい鳥を探すのは...

だったようです。

豊作で掘るのがたいへん



サツマイモでも作ろう会

五年目のイモづくりで、今年が一番の豊作でした。六月にツル挿し、夏休みに草取りなど汗を流した農業体験で育てたサツマイモです。「このイモよりも一番おいしかった」と、子どもたちの感想でした。

(石川)

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志いただきました。常盤校区の福祉事業のため有意義に使わせていただきます。厚くお礼申し上げます。

中三見上重江	重木坂田村本	健靖志年智信	治子朗男弘夫	様様様様様様	ごごごごごご	尊夫堂令尊令	父君堂室父室	澄進八ナ邦美	人様様様様様
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

常盤校区社会福祉協議会

地域づくり研修会

私たち大人は、子どもたちにできるだけ多くの体験活動の場を確保してやるのが大切ですが、「ああしなさい、こうしなさい」と指示をしてやらせることは、むしろマイナスで、自発的にやらせることが大切です。そのためには、まずは大人がその手本となることが重要です。赤川先生の地域に密着した実践活動から得られた話が「住みよい常盤づくり」につなげていけたら良いと思います。

(松永)

ペリカンの声

かつて各地域に青年団が存在し活発な活動を行っていた。しかし、消滅して社会教育の場から若者たちの姿が消えて久しい。

現在の若者を語るときフリーターやニートの問題が出てくる。社会変容の中で必然的に現れてきたものではあるけれど、地域社会の怠慢がその一因となっていることは否めない。子ども会やPTA、自治会や婦人会、どれも大人たちのエゴで弱体化している。そう、自分だけは「楽」をしたいから。青年団と同様に過去の手法や組織形態にしがみつき、時代の流れの転換点で上手くハンドルが切れなければ、あっという間に姿を消し去るだろう。

(若者ミッシヨン)

コミュニティ
No.56

常盤

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会



文部科学省委託「地域子ども教室推進事業」

自然体験「初めて滑るスキーだぞ」

常盤校区で初めての『スキー教室』が開催され、総勢35名で芸北のスキー場「八幡高原191」に出かけました。早朝ふれあいセンターを出発し、バスの中でビデオによる初心者講習。スキー場近くの屋根まで積もった雪を見るのが初めての子どもたちは驚きと感動がいっぱいでした。

さっそく、スキーをレンタルしてゲレンデに……。まずスキーの履き方、歩き方、止まり方を教わって、午後は、リフトに乗って上がり、最初は転びながら、二回目は何とか滑って、三回目は左右に曲がりながら……。子どもたちは、イキイキと大自然を満喫しました。

(主催 わくわく常盤)

常子連 第17回どんど焼き

常盤ふれあいセンター西側駐車場にて第十七回どんど焼きを開催しました。

どの準備をしました。当日はこれに火を投じて輪飾りなどを焼き無病息災、家内安全を願いました。

どんど焼きは日本の各地で行われる小正月（一月十五日）の火祭りです。正月に使った門松やしめ縄、お守り、破魔矢などを持ち寄って焼き、その火にあたり餅を焼いて食べれば、無病息災が叶うものだそうです。前日は青竹を四隅に立てて、忌み囲いをして、廃材で櫓を組み、な



また、ぜんざいの接待や餅つき体験、そして、ジュニアリーダーによるビンゴゲーム大会を楽しみました。

多くの方に、準備から後片付けまでのボランティアをしていただきました。

いまだに腰が痛いよ
うな・・・気のせいでしょうか。（陰の声）
「年なのよ」みなさんも健康に気をつけて一年間を無事に過ごしましょう。

常子連 久保田 守

七草がゆ

「芹（せり）薺（なずな）御形（ごぎょう）繁縷（はこべら）仏座（ほとけのざ）菘（すずな）蘿蔔（すずしろ）これぞ春の七草」と詠んだのは、平安初期の四辻善成左大臣です。江戸時代になると「七草がゆ」の準備を六日の晩に、まな板の上に火箸、すりこぎ、おろし金、杓子、菜箸、火吹竹などの炊事道具を並べ「七草なずな、唐土の鳥が日本の土地に渡らぬ先に合わせてバタバタ」と囃子歌で、まな板に置いた七草を包丁でトントン切り刻んだそうです。この頃から大陸からの渡り鳥が疫病を連れてくることを知り、また五穀を食い荒らす意味で、無病息災と五穀豊穡を祝って歌ったのです。

キンボール 合言葉は“オムニキン”!



1994年カナダの体育学士マリオ・ドゥマース氏によって考案され、日本には1997年に初めて紹介された。

皆さん「キンボール」って知っていますか？ 1チーム4人、3チームでプレーし、直径120cm、重さ約1kgの大きなボールを使って、ヒットやレシーブを繰り返して、失敗したら他チームに得点が与えられる、今までのスポーツとは違うユニークなスポーツです。各チームのメンバーは、チームカラーを示すゼッケン（ピンク、ブラック、グレー）を着用し、ヒットするチームの3人がボールを支え、残りの1人が「オムニキン」と言い、続いてレシーブチームの色を言ってからボールをヒットしなくてはなりません。「オムニキン」の言葉の由来はオムニ||すべての、キン||運動感覚という意味で、いわば「すべての人が楽しめるスポーツ」という造語です。今後、常盤校区でも講習会が開催されると思います。是非、参加して「オムニキン・ピンク」と叫んでみてください。気分爽快ですよ。

（常盤校区体育振興会 久保田 洋）

教室紹介 ヨガ教室

身体にやさしいヨガ

ヨガ教室は常盤ふれあいセンターの開館と同時にスタートしました。現在も磯部康子先生の指導の下、年齢もヨガ歴もまちまちの十数名が、毎週金曜日の十時十五分から二時間身体を動かしています。最近ではヨガブームですが、私達の先生のヨガは大槻ヨガの指導理念に基づいたものです。

「やせたい」「ストレスを発散させたい」「健康になりたい」とヨガを始めた動機は皆違いますが、教室の目的として、「死ぬまでの人生をたく長く豊かに生きる」ということがあげられます。

私もヨガを続けてきたおかげで、おのずと本来の自分を甦らせることができたように思います。

世話人 三隅艶子



少年野球ロードレース大会 第3位でくやしかった

ぼくは、初めて4kmの長い距離を走りました。走っているときは、それほど苦しくなかったが、ゴールしたときは、苦しくて死にそうでした。でも、常盤クラブの中で一番速かったのも、それなりに満ぞくしています。でも、タイムは15分台がでなかったのもくやしかったです。来年は、かならず14分台をめざして、上宇部クラブから優勝旗を全員で取り返します

塚原 那央



有原英輔 坪井拓真 澤本弘樹 浜崎裕也 阿部駿也 阪口泰佑 門永優貴 塚原那央

犬のフンは持ち帰ろう

～飼い主の皆さんへ～

最近、公園や路上などで、犬のフンが放置されたままになっているのを時々見かけます。

校区の環境浄化のためにも、飼い主の方は、犬に散歩をさせる時は、自分の飼っている犬のフンは自分で持ち帰るようにしてください。

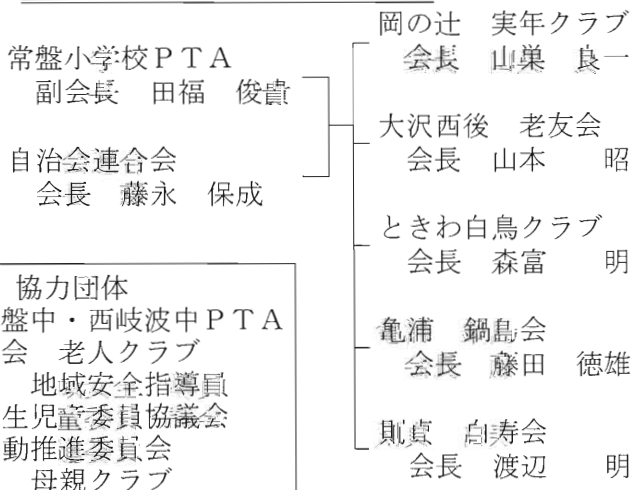
お互いにマナーを守って、住み良い環境を作りましょう。

宇部市環境衛生連合会 常盤支部

子どもの安全を見守ろう

子どもたちの安全を見守ることを目的として、各自治会内で曜日、時間を問わず自分で出来ることで見守りましょう。

常盤安全パトロール組織 組織図



常盤の地名・史跡マップ



常盤校区の地名および、史跡とをあわせて明治三十年頃の道を現在の地図に書き込んだものです。地名には、それぞれ名づけられた由来があるものです。次号からコミュニティ常盤の紙面に由来や伝説、および数少ない史跡などの紹介を企画しています。

また、健康を兼ねて昔の道を訪ねるのもよいかと思います。

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志いただきました。常盤校区の福祉事業のため有意義に使わせていただきます。厚くお礼申し上げます。

藤本 律子様	ご夫君 克巳様
中塚 馨様	ご令室 千代子様
西村 富士枝様	ご夫君 勝美様
江本 光行様	ご母堂 ウメ様
藤田 久子様	ご夫君 幸三様

常盤校区社会福祉協議会

ペリカンの声

年度末になり校区各団体の諸行事もそろそろ終わりです。

そして、来年度はどんなことをやろうかと頭をひねりながら計画を立案する時期でもあります。このコミュニティ常盤の下の欄に書かれています。常盤校区には三千五百世帯ほどで、八千七百名位の人々が住んでいます。

この方々が常盤校区に住んでいて良かったなあと思つて頂けるように、校区の各団体が行事の知恵を絞っていると思います。でも、なかなか新しい企画を生むことは難しいものです。

良いアイデアが出るように、住民の特技を登録する常盤校区独自の人材バンクやネットワークのようなものが出来ればよいですね。